



お知らせ

◎ 10月17～23日は薬と健康の週間

お薬手帳を持ちましょう

◆自分の使用する薬の記録です ◆あなたの薬の情報を、的確に伝えることができます ◆薬の重複投与の防止や相互作用の確認ができます ※薬についての相談は医師、歯科医師、薬剤師などの専門家に！

◎ 10月1日開始！

高齢者のインフルエンザ予防接種

▷期間 10月1日～令和3年1月31日

▷対象 本町に住民登録があり、接種を希望する次のいずれかの人①満65歳～ ②満60～65歳未満で心臓・腎臓・呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がい有する人（身体障害者手帳1級または同程度の診断書がある人）

▷自己負担額 1,500円

▷接種方法 町の指定医療機関（最新の情報は町ホームページより）に直接予約のうえ接種※上記以外での接種を希望する人は、必ず接種1週間前までに保健センターに申請（接種後の手続きはできません）

◎難病「医療・生活」相談会

難病の人を対象に医師などによる医療・生活・栄養・リハビリの相談を行います。

▷とき 10月11日（日）午後1～4時

▷ところ 木口記念会館、芦屋市保健福祉センター

▷参加費 無料

▷定員 200人程度

▷申込・問合せ 9日までに伊丹健康福祉事務所 (☎ 785 - 7462)



◆ 10月1日から、ロタウイルスワクチンの定期予防接種が開始されます!! (下表参照)

	種 別	内 容	
予 防 接 種 関 係	ロタウイルス	ロタリックス 出生6週0日後から24週0日後までの間（27日以上あけて2回接種） ロタテック 出生6週0日後から32週0日後までの間（27日以上の間隔で3回接種） ※令和2年8月1日以降に生まれた人が対象（対象者へ個別通知）	
	B型肝炎	生後2カ月～1歳の誕生日の前日までに3回	
	ヒブワクチン	生後2カ月になる前日～5歳になる前日まで、年齢により1～4回	
	小児用肺炎球菌ワクチン	生後2カ月になる前日～5歳になる前日まで、年齢により1～4回	
	BCG	生後3カ月になる前日～1歳になる前日までに1回 ◆ただし、標準的な接種期間は、生後5カ月に達した時から8カ月に達するまでの期間	
	四種混合 (ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ)	生後3カ月になる前日～7歳6カ月になる前日まで 初回接種 20日以上の間隔で3回（できるだけ、生後3～12カ月の間） 追加接種 初回終了後6カ月以上（できるだけ、1年～1年6カ月）あけて1回	
	日本脳炎	1期初回 生後6カ月になる前日～7歳6カ月になる前日まで ◆ただし、標準的な接種年齢は、3～4歳（6日以上の間隔で2回） 1期追加 1期初回終了後、6カ月以上（標準的にはおおむね1年あけて1回） 2期 9歳の誕生日前日～13歳の誕生日の前日までに1回 ※積極的接種勧奨差し控えにより接種を逃した人については、不足回数が接種可	
	MR (麻しん・風しん)	1期 1歳の誕生日前日～2歳の誕生日前日までに1回 2期 平成26年4月2日～平成27年4月1日生まれで年長クラスに相当する1年間に1回	
	水痘	生後1歳の誕生日前日～3歳の誕生日前日までに2回 2回目は1回目から3カ月以上（できるだけ、6～12カ月）あけて接種する	
	子宮頸がん予防 (HPV) ワクチン	小学6年生～高校1年生相当年齢の女子（現在積極的接種勧奨の一時見合わせています） 接種を希望する場合はワクチンの有効性とリスクを理解したうえで受けてください。	
	高齢者用肺炎球菌	今年度の末日に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳の人 令和3年3月31日までに1回※今までに接種した人は対象外	
	とき・受付時間	年間を通じて実施※時間は医療機関によって異なります。 ところ = 指定医療機関 ※指定医療機関は、『健康づくり年間予定表』をご覧ください。保健センターまで問い合わせください。	

いきいき健康ライフ 糖尿病治療薬の変遷

糖尿病の治療は進んでいます。1型糖尿病の治療はインスリン治療が主体です。2型糖尿病治療の基本は①食事療法 ②運動療法 ③薬物療法です。

1950年代＝第1番目はSU剤です。すい臓のβ細胞に作用してインスリンを分泌させます。1960年代＝第2番目はビグアナイドです。肝臓に働いて糖新生を減らすことで血糖値を下げます。インスリン抵抗性を減らす作用があります。1990年代前半＝第3番目はα-グルコシダーゼ阻害薬です。これは食事の炭水化物の吸収を遅らせ、血糖値を下げます。1990年代後半＝第4番目はチアゾリジン薬です。インスリン抵抗性を減らしてインスリンの効きを良くします。第5番目はグリニド製剤です。SU剤よりも速効性にインスリンを出します。第6番目はGLP-1受容体作動薬で、インクレチン作用を持つ注射薬です。

2009年＝第7番目はDPP-4阻害薬です。消化管ホルモンのインクレチン分解を阻害します。2014年＝第8番目はSGLT-2阻害薬です。腎臓から尿中にブドウ糖を排泄させます。

治療薬のもう一つの柱は、インスリン注射です。1920年代＝牛、豚などのすい臓からインスリンを抽出しました（夾雑物混入あり）。1940年代＝戦争で日本ではインスリンの輸入が出来なくなり、魚や鯨のすい臓より抽出したインスリンが作られました。1970年代＝インスリンを精製純化してMCインスリンを作りました。1980年代＝遺伝子工学で大腸菌を用いて人工的に人インスリンを作りました。2001年＝インスリンアナログ製剤が発売されました。

今回は、糖尿病薬の変遷を紹介しました。これらの武器を使って糖尿病は治療できます。森内科小児科医院 院長 森 幸三郎

★印…予約・申込が必要 ※いなすくサロンは20ページ

	種 別	内 容	とき・受付時間・ところ	
乳 幼 児 健 康 診 査	3・4カ月児健康診査	令和2年5月2日～令和2年6月15日生まれの人※身体計測、診察など	21日（水）13:15～14:15	保 健 セ ン タ ー
	3歳児健康診査	平成29年5月2日～平成29年6月10日生まれの人※身体測定、診察、歯科健診	15日（木）13:00～14:15	
	★すくすく相談	乳幼児の身長および体重測定・育児に関する相談	20日（火） 9:30～11:30	
	★もぐもぐ相談	管理栄養士による離乳中期における離乳食メニューの作り方や紹介	27日（火）10:00～11:30	
	★母親学級 ※7日前までに要申込、パートナーと参加可	① 歯の健康について、歯科健診 ② 赤ちゃんと育児・産後の話、沐浴実習、妊婦体験	① 14日（水） ② 28日（水） 13:15～13:30	
相 談	★健康相談	血圧・検尿・生活指導・医師による相談など 前立腺がん検診（料金 1,000 円 定員 10 人） 肝炎ウイルス検査（料金 1,000 円 定員 10 人）	8日（木）14:00～14:45	
	★精神保健相談	医師による心の相談。引きこもりやこころの悩み、老人性認知症など	28日（水）14:00～	
	種 別	内 容		
そ の 他	妊婦健康診査助成	医療機関で受診する妊婦健康診査に対し、一部助成を行っています。（20,000 円上限 2 回、8,000 円上限 4 回、5,000 円上限 8 回の合計 14 回）※事前に申請が必要		
	成人歯科健診	20 歳以上（年度末現在）が対象で、年度内（4 月から翌年 3 月末日）に 1 人 1 回受診することができます。直接、川西市歯科医師会会員医療機関に電話予約の上、受診してください。（健診無料、健康保険証持参）		
	妊婦歯科健診	妊婦健康診査助成申請された妊婦を対象に「妊婦歯科健診受診券」を交付します。妊娠安定期の体調の良いときに川西市歯科医師会会員医療機関に電話予約の上、受診してください（健診無料）。		
	川西市歯科医師会立訪問歯科センター	歯科治療で通院が困難な人（要介護者・ねたきり状態など）に、歯科医師や歯科衛生士が自宅へ訪問し、直接治療や口腔ケアなどを行います。費用負担あり。 ▶問合せ 同センター【☎ 757－0418（月～金曜日、9:00～17:00）】		